

「茅ヶ崎市民活動サポートセンター」について

■設立の趣旨

営利を目的としない社会貢献する活動を行っている個人や団体に対して、その活動の促進や支援等を行い、市民の自主的な活動による豊かな市民社会の発展に寄与する事を目的に、1997年に茅ヶ崎市により検討が開始され、2002年4月に設立された。

■設立から今日までの経緯

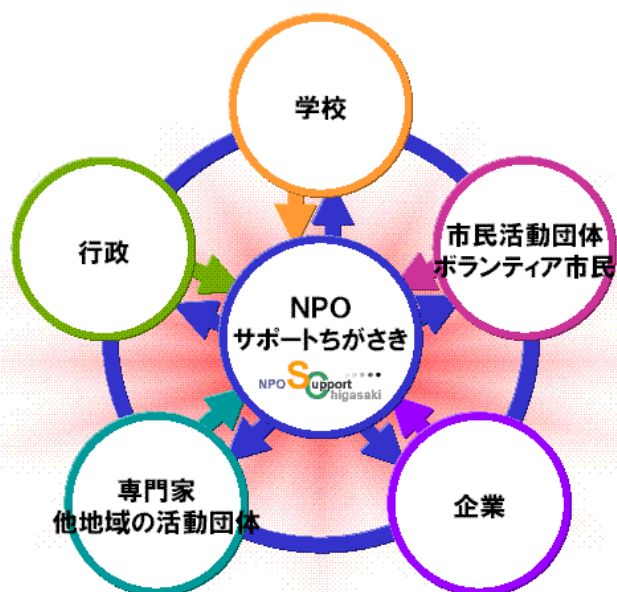
2002 年 4 月	茅ヶ崎市が茅ヶ崎市民活動サポートセンターを開設。当施設は、公設民営で運営を行うため、市民 19 名がボランティアで集結し、茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会としてスタート。
2003 年 6 月	NPO 法人化。会員は 23 名に増加。
2005 年 4 月	茅ヶ崎市が、民間の能力を活用して、市民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることを主な目的として、指定管理者制度を導入。複数団体とのコンペの末に、2008 年までの 4 年間の指定管理者となる。
2005 年 10 月	名称を「NPO サポートちがさき」に変更。

現在、「茅ヶ崎市民活動サポートセンター」は
＜NPO サポートちがさき＞によって運営されています。

「NPOサポートちがさき」について

■私たちの使命

福祉や教育、環境問題など、様々な社会的課題が顕在化している中、こうした課題の解決に取り組んでいるNPOや市民活動団体が持っている新たな発想や実行力と、行政や企業、教育機関などが持つ高い専門能力や資源とを有機的につなぎ、個別の努力の限界を超えて課題を解決する「拡がり」を創り出すことで、茅ヶ崎市の市民活動の活性化を促進していきます。



■私たちの事業

私たちが行っているのは、指定管理者としての委任事業と、自主事業の2つが柱です。

委任事業では、茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営として、施設管理や窓口業務などを行うことに加えて、NPO 講座の開催やホームページの開設、広報誌や市民活動ガイドブックの編集発行などを行っています。

特に市民活動フォーラムや NPO 講座などは、企画段階から市民活動団体や地域企業の方々にもご参加いただき、活動の「拡がり」を実践しています。

自主事業としては、協働のまちづくり研究会を通じて、市民活動団体の方々とともに、協働事業のあり方を考えるなど、活動中です。

また、会員に対する教育などの人材育成にも努めています。

私たちの想い

私たちスタッフ一同は、サポートセンターの運営に携わり、地方の時代、地域の時代に、茅ヶ崎のまちづくりに主役になって取り組む個人や市民団体の、営利を目的としない社会貢献活動を様々に支援します。

その支援を通じて、行政上の公益にとらわれない、民間の公益性を市民自らの手で創り出しあって、新しい公共的なサービスを生み出す文化を育てていきたいと思います。

そのために、市民・市民団体・企業・行政に対し、多様な形で橋渡し役を果たしながら、協働型まちづくりの実現に向けて、私たちスタッフは下記のような具体的なイメージを共有しています。

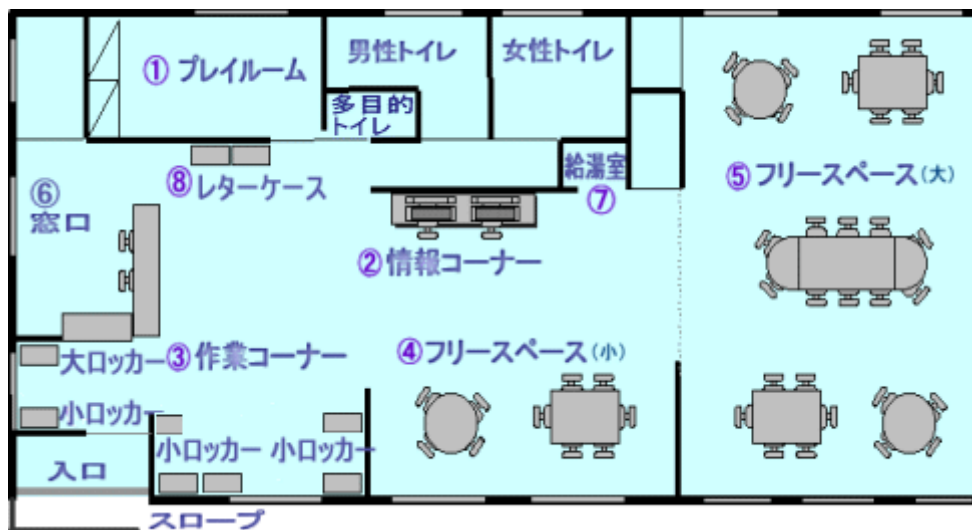
- ・ サポートセンターに来ると、市民活動団体の状況がわかる
- ・ サポートセンターを利用して、活動が活発になった
- ・ サポートセンターで活動のきっかけが見つかった
- ・ サポートセンターに面白い人や斬新なアイデアや新しい知恵がいっぱい集まってきた
- ・ サポートセンターで交流の輪が広がり、市民同士の新たなサポートが生まれた

など、「サポートセンターに来てよかった」と市民の皆さんに実感していただけるような支援サービスの提供を目指します。

館内のご案内

センターはバリアフリー対応です。

禁煙とゴミのお持ち帰りをお願いしております。



床面積 306.18 m²

当センターは、予約はすべて不要です。

いつでも気軽にご利用ください。